

保育における童謡

Nursery Songs in Child Care

岩 瀬 敏 子

Toshiko IWASE

## 1. はじめに

幼稚園教育要領で示された5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）の中から、「表現」の領域に含まれる音楽（童謡）について、各幼稚園で使用している曲名と教諭の童謡に対しての意識についてアンケート調査を行った。

## 2. 目的

教育実習先の各幼稚園が使用している春夏秋冬の曲をアンケート調査し、それについての教諭の意図・意識、童謡の有効性について明らかにすることを目的とする。

## 3. 対象

保育科2年次学生が教育実習のためお世話になった幼稚園，50園。

## 4. 童謡の変遷

大正デモクラシーにより、文学界では、社会の矛盾を正面から取り上げた島崎藤村の小説「破壊」が発表され、また女性解放を主張する平塚らいてふ主宰の雑誌「青」が創刊された。この頃から子どもに対する考え方も変わってきた。教育界では、子どもの個性を自由に伸ばそうとする私立学校が設立され、見たままを描く自由画運動なども起こってきた。

こうした動きとともに、堅苦しい文部省歌は子どもの生活実感とは離れたものであると批判され、もっと自由で豊かな子ども心に響き音楽的にも傑出した唱歌を作ろうという動きが出てきた。これが「赤い鳥」運動のはじまりである。

中心的存在になった北原白秋は〈童謡は童心童語の歌謡である〉とか、〈新しい日本の童謡は根本を在来の「わらべうた」に置く〉と主張し、〈日本の風土、伝統、童心を忘れた「小学唱歌」との相違はここにある〉と「童謡」についての考え方をはっきり示した。

その後1年程して「金の船」（金の星）期をむかえる。この時期欧米文化が洪水のように流れこみ、大正ロマンシチズムに彩られた、やさしくて新鮮な「童謡」は、一流の詩人、音楽家が参加して、純粹に芸術的な意欲に燃えて、子どものために、たくさんの歌を創作した時期である。その後戦争の影響により軍歌一色となり昭和16年から子どものことを〈小国民〉と呼び「小国民愛国歌」が創られた。この頃に「唱歌」が復興し、童謡の進展は止まってしまった。

戦後の昭和24年8月からNHKで幼児を対象とした番組を作ったがそのなかで新しい幼児向けの童謡がたくさんできた。作詞ではサトウハチロー、小林純一、まど・みちお、佐藤義美などの「赤い鳥童謡運動」の系統につながる人びとが協力し、作曲は中田喜直、芥川也寸志、團伊玖磨などが音楽性と詩情豊かな作品を次々と発表した。

昭和30年の春、磯部とし、宇賀神光利、大中恩、中田一次、中田喜直の童謡作曲家五人が、〈良

い詩によい曲をつけよう」という主旨でグループを結成し、詩人たちの協力を求めて、自主的、積極的に〈新しい子どものための歌〉を創作した。そして「童謡」を「子どもの歌」と言い改めた。このグループは日本語の美しい響きとリズムを求めて、新しい子どもの歌を生み出していった。このような時代背景を考慮しながら現在の幼稚園ではどのような童謡〈子どもの歌〉が歌われているのかを調べてみた。

## 5. アンケート調査の方法

保育科2年生が平成17年10月11日から2週間、幼稚園での教育実習を行った。そのお世話になった園に依頼して、年少、年中、年長、の春夏秋冬に最も多く歌われる童謡を5曲ずつ書いていただくと共に、童謡指導についてどうあるべきかについて自由記述していただいた。

## 6. アンケート調査結果

### (1) 曲名と使用園数

曲名	年少	年中	年長	曲名	年少	年中	年長
こいのぼり	17	21	17	せんせいとおともだち	4	8	4
春	1	1	0	こたりのうた	8	11	6
とんぼのめがね	1	0	0	おつかいありさん	2	1	0
チューリップ	20	20	8	おはながわらった	2	3	4
おかあさん	6	6	7	めだかのがっこう	1	4	5
ぞうさん	3	4	0	くつがなる	1	0	0
バスごっこ	3	5	5	とんでったバナナ	0	2	1
むすんでひらいて	1	0	0	はるよこい	0	2	0
とけいのうた	2	2	1	ふしぎなポケット	0	3	2
ポンポンポンと春がきた	1	0	0	春の小川	0	1	0
たんたんたんぼぼさん	1	0	0	せいくらべ	0	1	0
ちょうちよ	7	7	3	えんそくのうた	0	1	0
犬のおまわりさん	3	3	2	友達ができちゃった	0	1	0
おもちゃのチャチャチャ	4	5	2	手をたたきましょう	1	3	3
ぶんぶんぶん	5	2	0	アイアイ	4	8	3
かえるのうた	11	5	4	おおがたバス	0	1	1
思い出のアルバム	4	6	10	森のくまさん	1	4	7
かたつむり	12	15	6	そうだったらいいのにな	3	3	1
うれしいひなまつり	9	14	16	すてきなパパ	0	1	0
メリーさんのひつじ	1	1	0	あめふりくまのこ	2	7	29
はないちもんめ	0	1	0	ことしのぼたん	0	1	0
がんばりまんのうた	0	1	0	たけのこ	0	1	0
キリンさんのうた	0	1	0	かごめかごめ	0	1	0
きみたち今日から友達だ	0	0	1	ぼかぼかてくてく	0	0	1
ようちえんだいすき	0	0	1	ともだちさんか	0	0	2
線路は続くよどこまでも	0	0	1	さんぽ	0	0	3
子どもの世界	0	0	3	ピクニック	0	0	1
ドッキドキドン1年生	0	0	6	ずっとともだち	0	0	1
手のひらをたいように	0	0	5	しゃぼんだま	11	11	6

みどりのマーチ	0	0	1	ホ・ホ・ホ	0	1	4
えんそくはいいな	0	0	1	にっぽんじゅうのかぜのこ	0	0	1
さっちゃん	0	0	1	おなががへるうた	0	0	1
手をたたきましょう	0	0	2	こぶたぬきつねこ	0	0	1
ゆうらんバス	0	0	1	ドレミのうた	0	0	2
大きなうた	0	0	1	大きなふんどけい	1	1	10
はらべこあおむし	0	0	1	かぜよふけふけ	0	0	1
うたえばんバンバン	0	0	1	1・2・3のごあいさつ	0	0	1
すずめがサンバ	0	0	1	きらきら星	10	4	3
みずあそび	6	2	1	おばけなんてないさ	1	8	10
うみ	0	13	12	とんぼのめがね	12	22	14
みずでっぼう	2	1	1	たなばた	12	18	15
南の島のハメハメハ大王	1	4	4	とけいのうた	4	2	1
にやにゆによのてんきよほう	2	1	0	あめふり	1	0	0
金魚のひるね	1	0	0	ぞうさん	1	1	1
おつかいありさん	3	1	0	とまと	1	0	0
おたまじゃくし	1	0	0	うみはひろいな	1	0	0
アイスクリームのうた	1	3	5	はをみがきましょう	1	0	0
きれいなさかな	1	0	0	ロケットばびゅーん	2	0	0
雨だればったん	1	0	2	ありさんのおはなし	1	1	3
うちゅうせんのうた	0	2	2	虹のむこうに	0	1	0
雨ふりお月さん	0	1	0	カレーライス	0	1	0
ソフトクリームのうた	0	1	0	ありさん1000匹	0	1	0
ながぐつマーチ	0	1	0	雨	0	1	0
てるてるぼーず	0	2	3	しずかなごはん	0	1	1
ドロップスのうた	0	1	0	もえろもえろ	0	1	1
山の音楽家	7	10	6	ヤッホッホ夏休み	0	2	3
おてらのおしょうさん	0	1	0	ゆうやけこやけ	0	1	0
ひらいたひらいた	0	1	0	バナナのおやこ	0	2	0
はたるこい	0	1	0	世界のこどもたちが	0	0	1
しあわせなら手をたたこう	0	0	1	ロケット	0	0	1
ヒコーキ	0	0	1	じゃがいもポテト	0	0	1
さくらんぼ	0	0	1	はだかんぼうになると	0	0	1
海のそこにはあおいうち	0	0	1	ミックスジュース	0	0	1
わらいごえっていいな	0	0	1	小さな世界	0	0	2
こぶたが道を	0	0	1	イルカはザンブラコ	0	0	1
ふね	0	0	1	すてきなパパ	0	0	2
ゆうやけこやけ	3	1	6	どんぐりころころ	21	22	1
たきび	3	5	5	大きな栗の木の下で	15	9	2
わらいんぼコスモス	1	2	1	まつぼっくり	15	11	7
つき	2	2	3	うんどうかい	4	4	4
いもほり	1	0	0	やきいもグーチーパー	5	5	6
こぎつね	4	7	1	かまきりじいさん	2	2	2
きのこ	2	3	5	証城寺のたぬきばやし	1	0	1
まっかな秋	2	3	12	おひさまとあくしゅ	1	0	0
でおいもちゃんちびいもちゃん	1	1	1	やまびこごっこ	1	1	2
あきのやま	1	0	0	こおろぎ	0	2	3
あきのバイオリン	0	1	0	たのしいね	0	1	0
くだもの列車	0	1	0	もみじ	0	3	2

虫のこえ	0	4	3	おちばがちるよ	0	1	0
むらまつり	0	1	0	うさぎ	0	2	0
おいもごろごろ	0	1	0	おんまはみんな	0	1	0
うさぎとかめ	0	1	1	まつむし	0	1	0
シンデレラのスープ	0	1	0	山のワルツ	0	1	0
七つの子	0	1	0	なべなべそこぬけ	0	1	0
ずいずいずっころばし	0	1	0	通りゃんせ	0	1	0
あぶくたった	0	1	0	赤とんぼ	0	0	4
小さい秋みつけた	0	0	2	バンダ・ダ・パヤ	0	0	1
はたけのポルカ	0	0	1	ともだちさんか	0	0	1
虫の音楽会	0	0	1	里の秋	0	0	1
だいだいたいぼうけん	0	0	1	どんぐりかぞく	0	0	1
ももたろう	0	0	1	ロンドン橋	0	0	1
1本でもにんじん	0	0	1	ひとりの小さな子	0	0	1
地球はみんなのものなんだ	0	0	1	ビリーブ	0	0	1
ABCのうた	0	0	1	1等賞うれしいな	0	0	1
走るの大好き	0	0	1	十五夜さん	0	0	1
うたえバンバン	0	0	1	世界中の子どもたち	0	0	1
勇気100%	0	0	1	ゆげのあさ	1	1	0
たこのうた	5	7	5	雪のこぼりず	1		
北の玉から	1	0	1	雪のペンキやさん	5	1	5
ゆき	15	14	12	お正月	11	12	15
あわてんぼうのサンタクロース	10	15	11	まめまき	5	9	7
たきび	7	9	11	あられ	1	0	0
こんこんくしゅん	2	5	2	ジングルベル	2	1	1
ごんべさんのあかちゃん	1	0	0	手をつなごう	1	0	0
サンタのおじさん	2	0	0	北風小僧のかんたろう	4	2	5
もちつき	2	1	1	赤鼻のトナカイ	1	0	5
お星がひかる	2	1	1	やぎさんゆうびん	3	5	0
1年生になったら	2	2	9	サンタクロース	1	0	0
げんこつやまのたぬきさん	1	0	0	雪って長靴すきだって	1	0	0
クリスマス	1	0	0	うさぎ野原のクリスマス	1	1	0
カレンダーマーチ	0	3	4	冬景色	0	1	0
くまのこちゃん	0	1	0	一月一日	0	1	0
スキー	0	1	0	大きくなあれ	0	1	0
ふとりすぎちゃったサンタさん	0	1	0	すうじのうた	0	1	1
だるまさん	0	1	0	大波小波	0	1	0
あんたがたどこさ	0	1	0	おしくらまんじゅう	0	1	0
からすかずのこ	0	1	0	ともだちになるために	0	0	2
みんなともだち	0	0	2	クリスマスのうたがきこえてくるよ	0	0	2
赤鬼と青鬼のタンゴ	0	0	1	ちびっこカウボーイ	0	0	1
サンタが町にやってくる	0	0	2	ウィンターワンダーランド	0	0	1
そうぎょうのうた	0	0	1	黒ネコのタンゴ	0	0	1
白くまのジェンカ	0	0	1	はじめの一步	0	0	1
世界にひとつだけの花	0	0	1	虫	0	1	0
とんぼ	0	0	1		0	0	0

## (2) 自由記述

- ・童謡は歌いやすいし心にしみいるものがあり幼児の成長に大変役立つものと考えます。そこで場と機会をとらえて童謡のよさを子どもたちに伝えていくべきです。
- ・今の時代の歌ばかりでなく昔から歌い継がれてきた童謡も歌わせたい。
- ・詩の美しさも大切にしたい。
- ・一時的に幼稚園から童謡が聞かれなくなったと言われた時期があったが、童謡にはほのぼのと心温まるメロディーや歌詞のものが多く子どもの情緒的なものを育むためにもぜひたくさん取り入れたい。
- ・童謡をテープなどで聞かせるのではなく生の声で歌ってあげることで心にひびくものがあると思う。
- ・子どもの大好きな歌で季節感を伝えていきたい。
- ・繰り返し歌うことでリズムを体に受け生活に結びつける。季節の変化を気づいたときに身体から歌が出るそんな心に響く気持ちを育てるように歌詞の指導も必要。茨城の詩人である野口雨情の童謡をもっと歌うと良いのでは。
- ・現在では使われていない言葉また理解できない言葉が出てくることが多いので曲の持つ意味が歌うだけでは理解できないこともあるので歌の持つ意味もしっかり伝えたい。
- ・幼児成長期において、母親による影響は大であると思うが母親が童謡を口ずさむことによって、自然に子どもの耳に伝わるものがあると思う。
- ・昔から歌われてきている童謡は、メロデーもやわらかく心穏やかにしてくれる雰囲気がありますが、歌詞の言葉や意味が現代の生活では理解するのが難しいものもあると思う。すべての内容を理解しなければ歌えないということではありませんが、言葉の意味や昔の生活に触れながら歌うことが出来たらと思う。
- ・新しい歌が少しずつと出来てきて家庭や幼稚園などでも歌われるようになってきているせいか、昔から歌われている童謡がだんだん消えてきています。折に触れて子どもたちに伝えていきたいと思う。
- ・新しい歌がたくさん出ている現代ではあるが、心にしみる歌、昔から歌い継がれている歌は残していきたい。
- ・昔から歌われている童謡の良さや、温かさを伝えていくことを心がけている。
- ・私たち大人がふと口ずさむ歌、季節を感じさせてくれる歌、心落ち着ける歌の魅力を幼児たちにも時期ごとにゆとりをもってつたえていきたい。最近では手話ソングとなった童謡もある。
- ・「童謡」というと昔から歌い継がれている懐かしい歌というイメージがあり、四季や人の細やかな情愛を表現する美しい歌詞と日本固有の美しい旋律は、現代の子どもたちのころにも

ゆったりと染入ってゆくものと考えている。だから今後の保育の中にも積極的に取り入れて、私たちがそうであったように子どもたちが将来、親になったとき、祖父母になったときに子どもや孫に歌い聞かせてほしいと願っている。

- ・情緒豊かな旋律と歌詞の童謡は日本（日本人）の文化のあらわれだとおもう。次の世代に受け継いでいけるように幼稚園教育にも取り入れていく必要があると思う。
- ・童謡は日本の大切なぶんかである。言葉ひとつひとつに込められた心を伝えるという思いで指導している。
- ・行事の取り組みの中で季節を感じたり、昔ながら伝わっている伝統行事の良さを意識化させるため、歌って聴かせている。日本らしい曲調の良さがあり伝えていきたい。
- ・最近家庭で童謡を歌うことが少なくなってきたと思う。童謡は幼稚園で歌うものという意識が強くなってきていて、園にゆだねられているのが現状だ。
- ・童謡を歌として流して教えるのではなく、詩を朗読し、内容を伝え、より子どもたちに関心を持ってほしいと思う。子どもたちにとってあまりなじみのない言葉が出て来る事があるので、理解できるように丁寧に指導する。
- ・童謡は幼稚園時代の子どもたちの心の中に（思い出として）ずっと残ってほしいとおもう。
- ・幼稚園がこころのふるさと（第2のふるさと）となしてほしいと願い、園では毎日童謡を流している。
- ・現代社会の騒々しさの中にあり、音楽もテンポの速い曲が多いと思われる。短いセンテンスで覚えやすく、ゆったりと、穏やかな気持ちをあじわせるので「童謡」は伝えていくべきだ。
- ・動きをつけて楽しく歌えるようにしたり、いろいろな歌を聴かせたりしながら童謡に触れる機会を作ってゆく。
- ・教諭自身も新しい歌はすぐに覚えるのですが、昔から歌われている曲をあまり知らない人が多いような気がする。

## 7. アンケート調査のまとめと自由記述による調査結果

以上の回答から各幼稚園では季節を感じさせる童謡・唱歌を使用しているが、同時にテレビ、ビデオ、ゲームソフトなどから流れる音楽、ロックやポップス、クラシック等などあらゆる音楽を取り入れていることが分かった。しかしその反面、これからの幼稚園の音楽教育のなかで「童謡」の指導はどうあるべきか、という問いには従来の童謡を大事にしてゆくべきという内容の意見が多かった。

## 8. 考 察

アンケート調査を行った結果、幅広いジャンルの曲が使用されているがその中でも童謡を楽し

み、歌い継いでゆくことの大切さを、各幼稚園の先生方は痛切に感じている。情緒的でメロディックな音楽を使用することは、思いやりのある優しい性格を形成していくために必要不可欠であると思われる。

また、リズムに対して大きな・多くの反応をするからといって、あまり強烈なリズムの音楽のみを使用し過ぎると、情緒性の欠ける攻撃的な性格の子どもに育つ可能性があると言われている。

以上のことから、メロディーがゆったりとして美しい曲、明るさの中にも哀愁が漂う曲、メルヘンチックな曲、自然とのふれあいが感じられるような曲など、童謡を多用することが人間形成の初期に一番大切であると考察される。

## 9. まとめ

童謡は無邪気な子どもの天真爛漫な心を歌い上げるものであると同時に知育に偏りがちな教育の欠陥を補うものとしての情操教育の一環として、幼児の精神生活を高め、一人ひとりの人格を形成するために重要なものである。それゆえ、幼児期に童謡は欠かせないものであると考える。

資料1「幼稚園教育要領」の領域「表現」に関するねらい、及び内容、留意事項（文献から資料を添付する）

### 「表現」

この領域は、豊かな感性を育て、感じたことや考えたことを表現する意欲を養い、創造性を豊かにする観点から示したものである。

#### 1. ねらい

- (1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
- (2) 感じたことや考えたことを様々な方法で表現しようとする。
- (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

#### 2. 内容

- (1) 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり楽しんだりする。
- (2) 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
- (3) 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
- (4) 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり自由にかいたりつくったりする。
- (5) いろいろな素材を楽しみ、工夫して遊ぶ。
- (6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。
- (7) かいたりつくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする。
- (8) 自分のイメージや動きや言葉などで表現し、演じて遊ぶ楽しさを味わう。



### 3. 留意事項

上記の取り扱いに当たっては、次の事項に留意する必要がある。

- (1) 豊かな感性は、日常生活の中で美しいもの、優れたもの、心に残るような出来事などに  
出会い、そこから得た感動を他の幼児や教師と共有し様々に表現することなどを通して養  
われるようにすること。
- (2) 生活経験や発達に応じ、自ら様々な表現を楽しみ表現する意欲を十分に発揮させること  
ができるような教材や用具などを適切に整えること。
- (3) 幼児が自分の気持ちや考えを素朴に表現することを大切にし、特定の技能を身に付けさ  
せるための偏った指導を行うことのないようにすること。

と記されているが、ねらいのなかの〈美しさなどにたいする豊かな感性をもつ〉という言葉に童  
謡の大事な役割があると思われる。

#### 参考文献

- (1) 童謡のあゆみ 上 笙一郎編 (大空社)
- (2) 文部科学省「幼稚園教育要領解説」
- (3) 日本童謡史 長田 暁二 (大槻書店)